

滋賀県立農業大学校シラバス 101

講座名	農業政策	担当	元県職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数(単位数)	16時間(1単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義	<input type="radio"/> 演習	<input type="radio"/> 実験	<input type="radio"/> 実習
		<input type="radio"/> 見学	<input type="radio"/> 実技	

科目内容(教育研修計画より転記も可)

1. 世界の農業情勢
2. 日本の農業情勢と政策
3. 滋賀県の農業施策、滋賀県農業の現状と課題(特に食料安全保障に重点を置いて)

授業内容(4時間を1回分とした内容)

第1回(4時間)	日本の農業と食生活の現状
第2回(4時間)	日本の農業情勢と政策(特に食料安全保障の2つの側面)、水田の意義
第3回(4時間)	滋賀県の農業施策及び最近の農業政策の動向と課題 海外の取り組みと新しい農業農村のとらえ方
第4回(4時間)	
第5回(4時間)	
第6回(4時間)	
第7回(4時間)	
第8回(4時間)	

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入

日本は食料危機にどう備えるか(農文教) 「日本のコメ問題」(レジュメ)
他必要に応じ追加する。

到達目標

日本および滋賀県の農業政策や施策の動きが理解できる。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))

- 試験 出欠状況 提出物の有無とその内容
 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 102

講座名	農業経営	担当	研究生	実務経験	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生		<input checked="" type="radio"/> 1年	<input type="radio"/> 2年	就農
学期	前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/>	時間数 (単位数)		16時間 (1単位)		
授業形態 (○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義	<input type="radio"/> 演習	<input type="radio"/> 実験	<input type="radio"/> 実習	<input type="radio"/> 見学	<input type="radio"/> 実技

科目内容 (教育研修計画より転記も可)

1. 個別経営のとらえ方と分析方法、農家の経済的仕組み、
農家経営のとらえ方・比較のための分析指標
2. 家族経営と企業経営の特徴対比
3. 農業経営の法人化とその意義

授業内容 (4時間を1回分とした内容)

第1回 (4時間)	個別経営のとらえ方と分析方法、農家の経済的仕組み
第2回 (4時間)	農家経営のとらえ方・比較のための分析指標
第3回 (4時間)	家族経営と企業経営の特徴対比
第4回 (4時間)	農業経営の法人化とその意義
第5回 (4時間)	
第6回 (4時間)	
第7回 (4時間)	
第8回 (4時間)	

使用教科書 (テキスト) 書籍名、自作資料の内容を記入

自作教材・自作資料など

到達目標

農業経営の基本 (マネジメント、生産管理、人的管理、財務管理、経営発展など) を理解できる

評価で重視する内容 (テスト・レポート等の有無、その他 (授業態度・出欠))

- 記述テスト ○ 出欠状況 ○ 提出物の有無と内容
○ 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 103

講座名	農業簿記	担当	元税理士法人職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 就農	
学期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	時間数(単位数)	32 時間 (2単位)	
授業形態(○)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実験	<input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)	
農業簿記の基礎知識を習得する。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業簿記の基礎 ・ 農業簿記の演習 	

授業内容(4時間を1回分とした内容)	
第1回	農業簿記について
第2回	取引・仕訳
第3回	取引・仕訳
第4回	固定資産
第5回	決算整理
第6回	総合演習
第7回	パソコン簿記演習
第8回	パソコン簿記演習

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入
農業簿記検定3級 教科書及び問題集 大原出版
講師自作資料(パワーポイント作成資料等)

到達目標
○ 農業簿記の基礎知識を習得し、記帳方法に沿った記帳ができる。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))
○ 記述テスト ○ 出欠状況 ○ 提出物の有無と内容
○ 授業態度

評価基準
<p>本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。</p>

滋賀県立農業大学校シラバス 104

講座名	農産物流通	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/>	時間数(単位数)	16時間(1単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実験	<input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)

流通の現場を研修し、農産物流通の実際を学ぶ
食糧(米)流通の現場と、青果物の市場、市場外流通の現状を学ぶ

授業内容(4時間を1回分とした内容)

第1回(4時間)	「米流通の現状」精米工場見学、食の安心、安全な取組。
第2回(4時間)	「青果物流通の現状」青果物の市場流通システム見学。
第3回(4時間)	「市場外流通の現状」青果物の直売所などの流通システム見学
第4回(4時間)	流通の仕組み、機能・役割と流通に係る問題と対応策についての講義。
第5回(4時間)	
第6回(4時間)	
第7回(4時間)	
第8回(4時間)	

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入

食料・農産物流通論

到達目標

見学を通じて、農産物の流通実態と、食品加工の実際を知る。
流通の仕組みと機能・役割について知る。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))

記述テスト 出欠状況 提出物の有無と内容
 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 105

講座名	農産物マーケティング	担当	6次産業化プランナー	実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
-----	------------	----	------------	------	--

科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農
学期	前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/>	時間数(単位数)	16時間(1単位)
授業形態(○記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 見学		

科目内容(教育研修計画より転記も可)
マーケティングの手法、ブランド化に必要な商品コンセプト、ブランディングまでの流れを学ぶ。

授業内容(4時間を1回分とした内容)	
第1回(4時間)	マーケティングの目的とポイント、具体的な手法等
第2回(4時間)	産地を取り巻く環境と消費者動向の把握
第3回(4時間)	商品コンセプトの作り方
第4回(4時間)	ブランドの強み、目線の置き方、伝え方、ターゲット等

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入
自主教材

到達目標
農業経営に必要なマーケティング手法、ブランド化の知識の理解。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))
<input type="checkbox"/> 記述テスト <input type="checkbox"/> 出欠状況 <input type="checkbox"/> 提出物の有無と内容 <input type="checkbox"/> 授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 106

講座名	農業技術概論Ⅰ（作物・野菜）	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
-----	----------------	----	---------	---

科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	1年 <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）
授業形態（○記入）	<input checked="" type="radio"/> 講義	<input type="radio"/> 演習	<input type="radio"/> 実験 <input type="radio"/> 実習 <input type="radio"/> 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可） 稲・麦・大豆生産技術の概要 本県の土地利用型経営の特徴 野菜栽培に関する基本的な作業名や作業の目的について。 少量土壌培地耕の構造や特徴について。 滋賀県の野菜生産の現状について。
--

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1回（4時間）	野菜栽培管理用語について、少量土壌培地耕について
第2回（4時間）	施設栽培と露地栽培について、滋賀県の野菜生産について
第3回（4時間）	滋賀県農業の特徴、本県稲作（土地利用型農家）の取り組み農業の始まり、作物の分類、農大での取組
第4回（4時間）	お米の品種、稲作農家の1年(稲、麦、大豆)、土地利用型経営の特徴（園芸品目との比較）

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料：野菜栽培に関する用語解説、野菜の分類、少量土壌培地耕について、野菜生産出荷統計、近江の野菜生産振興指針等 滋賀の農林水産業 自作資料：稲作農家の1年	

到達目標	
野菜栽培に関する基本的な用語や野菜の分類を理解する。 滋賀県開発の野菜の少量土壌培地耕について、システムの構造や特徴を習得する。 滋賀県の野菜生産や野菜振興策について知る。稲・麦・大豆生産技術の概要が理解できている。 本県の土地利用型経営の特徴が理解できている。	

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）	
○記述テスト ○出欠状況 ○授業態度	

評価基準	
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。	

滋賀県立農業大学校シラバス 107

講座名	農業技術概論Ⅱ (花・果樹)	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
-----	-------------------	----	---------	---

科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農 <input type="checkbox"/>
学期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	時間数 (単位数)	16時間 (1単位)
授業形態 (○記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 見学		

科目内容 (教育研修計画より転記も可) 花き栽培に関する基本的な作業名や作業の目的について。 果樹生産技術の概要
--

授業内容 (4時間を1回分とした内容)	
第1回 (2時間)	果物の雑学・豆知識
第2回 (2時間)	花きの雑学・豆知識
第3回 (2時間)	花・果樹研究部における最新研究の現状
第4回 (2時間)	花・果樹研究部における最新研究の現状
第5回 (2時間)	全国における滋賀県果樹農業の現状・特徴
第6回 (2時間)	全国における滋賀県花き農業の現状・特徴
第7回 (2時間)	滋賀県果樹農業における各品目の現状・特徴
第8回 (2時間)	滋賀県花き農業における各品目の現状・特徴
使用教科書 (テキスト) 書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料	

到達目標 花き・果樹栽培への関心を高めつつ、本県花き・果樹農業の現状および課題、今後の展開方向について理解を深める。 また、本県開発されたイチジクのポット栽培やナシの低樹高栽培、ブドウの改良仕立て等の概要について理解を深める。

評価で重視する内容 (テスト・レポート等の有無、その他 (授業態度・出欠)) <input type="checkbox"/> 記述テスト <input type="checkbox"/> 出欠状況 <input type="checkbox"/> 授業態度
--

評価基準 本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。
--

滋賀県立農業大学校シラバス 108

講座名	農業技術概論Ⅲ (茶・畜産)	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
-----	-------------------	----	---------	---

科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	1年 <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農 <input type="radio"/>
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数 (単位数)	16時間 (1単位)
授業形態 (○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input type="radio"/> 演習 <input type="radio"/> 実験 <input type="radio"/> 実習 <input checked="" type="radio"/> 見学		

科目内容 (教育研修計画より転記も可)
茶、畜産に関する基本的な作業や作業の目的について。 茶・畜産技術の概要

授業内容 (4時間を1回分とした内容)	
第1回 (4時間)	畜産技術振興センターにおける最新研究の現状
第2回 (4時間)	茶業指導所における最新研究の現状
第3回 (4時間)	滋賀県の畜産における現状・特徴 畜産の雑学・豆知識
第4回 (4時間)	滋賀県の茶業における現状・特徴 茶の雑学・豆知識
使用教科書 (テキスト) 書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料	

到達目標
茶・畜産への関心を高めつつ、本県茶・畜産の現状および課題、今後の展開方向について理解を深める。

評価で重視する内容 (テスト・レポート等の有無、その他 (授業態度・出欠))
<input type="radio"/> 記述テスト <input type="radio"/> 出欠状況 <input type="radio"/> 授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 109

講座名	農業機械（学科）	担当	農大職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 見学 <input type="checkbox"/> 実技			

科目内容（教育研修計画より転記も可）

1. 農業機械と農作業－意義と役割
2. エンジンの基礎知識
3. トラクタの構造と機能
4. 主要農業機械の構造と機能
5. 整備と安全作業

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	耕うん整地用機械の構造と作業方法
第2回（4時間）	稲作用機械の構造と作業方法
第3回（4時間）	稲作用機械の構造と作業方法、乾燥調製施設の構造
第4回（4時間）	農作業安全、畑作用機械の構造と作業方法

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

- ・「新版 農業機械の構造と利用」藍房和他著
- ・その他持込み資料

到達目標

- ・農業生産や農業経営などで必要となる知識の一環として水稻、麦、大豆作りに代表される生産において、主として利用される農業機械や施設の概要について理解する。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト ○出欠状況 ○授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 110

講座名	農業機械（実技）	担当	農大職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 就農	
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数（単位数）	32時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="radio"/> 講義	<input type="radio"/> 演習	<input type="radio"/> 実験	<input checked="" type="radio"/> 実習 <input checked="" type="radio"/> 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可） 農業機械の役割と利用を学習し、基本的な機械の種類と使用方法を理解させる。
--

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1回（4時間）	農業機械の利用と種類及び農業機械による事故と安全な作業
第2回（4時間）	トラクタの基本構造の理解と運転方法（大特免許取得に向けて）
第3回（4時間）	トラクタの点検・整備、工具の種類と扱い方
第4回（4時間）	トラクタの安全な作業方法、燃料と潤滑油、タイヤの構造
第5回（4時間）	内燃機関全般の構造、電動機の構造、溶接の方法
第6回（4時間）	トラクタ作業機の種類とその操作について
第7回（4時間）	トラクタ研修
第8回（4時間）	牽引研修
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
農文協「農業機械の構造と利用」	

到達目標
・大特農耕用免許取得及びけん引免許取得を目指し、基本操作取得を目指す 斗ともに、安全にトラクタ作業ができるようトラクタ構造を理解を目指す。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
<input checked="" type="radio"/> 記述テスト <input checked="" type="radio"/> 出欠状況 <input type="radio"/> 提出物の有無と内容 <input checked="" type="radio"/> 授業・見学研修態度

評価基準
教科書の内容を理解度と農作業の安全等についてのDVDによる学習理解度を試験で判断し、ヤンマーミュージアム見学の感想文を提出させ、出席も判断材料に総合的に評価する。

滋賀県立農業大学校シラバス 111

講座名	土壌肥料	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/>	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 見学			

科目内容（教育研修計画より転記も可）

1. 土壌の性質と作物
2. 農地土壌の特徴とその管理
3. 土壌の保全と土壌診断

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	土壌の性質と作物他
第2回（4時間）	土壌中の有機物の役割他
第3回（4時間）	農地土壌の特徴とその管理他
第4回（4時間）	土壌の保全と土壌診断他
第5回（4時間）	
第6回（4時間）	
第7回（4時間）	
第8回（4時間）	

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

- 土壌の基礎知識

到達目標

- 土壌の性質や土壌中の有機物の役割について基礎的な知識が身についている。
- 農地土壌の特徴や管理について基礎的な知識が身についている。
- 土壌の保全や土壌診断についての基礎的な知識が身についている。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト ○ 出欠状況 ○ 提出物の有無と内容
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 112

講座名	農薬概論	担当	研究所顧問	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/>	時間数(単位数)	16時間(1単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input type="radio"/> 演習	<input type="radio"/> 実験	<input type="radio"/> 実習	<input type="radio"/> 見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)

1. 農薬を理解するための化学知識の習得
2. 農薬およびその使用に関する基礎知識の習得

授業内容(4時間を1回分とした内容)

第1回(2時間)	農薬とは, 農薬の安全性(1)
第1回(2時間)	農薬とは, 農薬の安全性(2)
第2回(2時間)	農薬の発達と変遷, 農業生産における農薬の役割(1)
第2回(2時間)	農薬の発達と変遷, 農業生産における農薬の役割(2)
第3回(2時間)	農業用殺菌剤の種類と概要(1)
第3回(2時間)	農業用殺菌剤の種類と概要(2)
第4回(2時間)	殺虫剤, 除草剤, 植物生育調節剤の種類と概要(1)
第4回(2時間)	殺虫剤, 除草剤, 植物生育調節剤の種類と概要(2)

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入

- 毎回プリントを配付する。参考図書も講義の中で適宜紹介する。

到達目標

- 農薬の定義, 農薬の安全性について理解することができる
- 農薬の発達と変遷, 農業生産における農薬の役割について理解することができる
- 農業用殺菌剤の種類と特性について理解することができる
- 殺虫剤, 除草剤, 植物生育調節剤の種類と特性について理解することができる

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))

- 記述テスト ○ 出欠状況 ○ 提出物の有無と内容
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 113

講座名	6次産業化農業	担当	大学教員 農 大職員	実務経験 有
-----	---------	----	---------------	--------

科目の種別	共通	対象学生	2年
学期	後期	時間数 (単位数)	32時間 (2単位)
授業形態 (○記入)	講義 ○ 演習 ○ 見学 ○		

科目内容 (教育研修計画より転記も可)			
1 第6次産業化の意義 2 直売経営の特徴 3 農産加工の実際・製造現場 4 マーケティング (消費者ニーズの把握、ブランドとデザイン) 5 加工・直売上の注意事項 (表示、生産管理工程等) 6 事例研修および講演 7 視察			

授業内容 (4時間を1回分とした内容)	
第1回 (4時間)	6次産業化の意義 (先駆的農業経営=攻めの農業) ケースメソッド
第2回 (4時間)	農産物流通とマーケティング (これからの農業経営) ケースメソッド
第3回 (4時間)	加工品開発の実際 (品質管理・衛生管理等) 先駆的経営者に学ぶ
第4回 (4時間)	グループワーク (6次産業化事業計画の検討策定) プロセスの理解販売と生産のバランス事業計画の発表と診断 (実現可能性・組織体制) おもてなしの精神
第5回 (8時間)	視察
第6回 (8時間)	視察

使用教科書 (テキスト) 書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料: 「攻めの農業の推進者たれ!」「農産物流通とマーケティング」 「総合化事例から学ぶ」「農業経営の多角化」「総合化事業計画作成演習」 「アグリビジネスとおもてなし」	

到達目標	
座学・ケースメソッド・グループワーク (PBL手法) を通じて多様な考え方を修得し、事業計画演習によりマーケティングプロセスを理解することで、実際の農業経営に反映できる。	

評価で重視する内容 (テスト・レポート等の有無、その他 (授業態度・出欠))	
○記述テスト ○出欠状況 ○授業態度	

評価基準	
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。	

滋賀県立農業大学校シラバス 114

講座名	特殊技術学習	担当	農大職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種類別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input type="radio"/> 演習 <input type="radio"/> 実験 <input type="radio"/> 実習 <input type="radio"/> 見学			

科目内容（教育研修計画より転記も可）

1. 基礎化学の習得
2. 危険物取扱者（乙種4類）資格取得に必要な知識の習得

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	危険物に関する法令、校内危険物施設を実際に見て学ぶ
第2回（4時間）	危険物に関する法令、模擬試験
第3回（4時間）	危険物に関する法令、危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法、模擬試験
第4回（4時間）	基礎的な物理学及び基礎的な化学、模擬試験

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

乙種第4類危険物取扱者合格テキスト&問題集（高橋書店）
 自作資料：各回のまとめ
 模擬試験のプリント

到達目標

- 基礎的な化学の知識が習得できている
- 危険物取扱者（乙種4類）資格取得に必要な知識の習得ができている

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 出欠状況
- 授業態度
- 試験

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は試験等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。

滋賀県立農業大学校シラバス 115

講座名	労働衛生	担当	理学療法士	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/>	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input checked="" type="radio"/> 演習	実験	実習	見学 実技

科目内容（教育研修計画より転記も可）

1. 農業労働の特徴
2. 農作業安全と作業環境の改善
3. 労働設計の樹立

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	労働におけるけが・疲れ
第2回（4時間）	熱中症、労働での身体負担
第3回（4時間）	腰痛・肩こり、振動、騒音
第4回（4時間）	労働安全実地実習

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

自作教材・自作資料

到達目標

労働衛生について理解を深めるとともに、安全衛生の基本的な事柄を自分で説明できる。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト ○ 出欠状況 ○ 提出物の有無と内容
○ 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 116

講座名	環境と農業	担当	大学教員	実務経験	有	無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生		<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農		
学期	前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/>	時間数 (単位数)		32時間 (2単位)		
授業形態 (○記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/>	実験	実習	見学		

科目内容 (教育研修計画より転記も可)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 食の安全と農業 | 2. 資源循環型農業のあり方と展開方向 |
| 3. 滋賀県の環境と農業技術 (環境こだわり農業) | |
| 4. 病害虫・野生動物管理技術 | 5. 有機農業の技術と認証 |

授業内容 (4時間を1回分とした内容)

第1回 (4時間)	I. 地球温暖化について
第2回 (4時間)	II. 農業による環境汚染 II-1. 食の安全と農業食料自給率の現状
第3回 (4時間)	II-2 農業生産による環境汚染 (1) 資源循環型農業のあり方
第4回 (4時間)	II-2. 農業生産による環境汚染 (2)
第5回 (4時間)	III. 農業からの環境保全方策 III-1. 環境保全への指針
第6回 (4時間)	III-2. 農業生産現場での環境保全 滋賀県の環境と農業技術 (環境こだわり農業)
第7回 (4時間)	III-3. 農業による地域の活性化
第8回 (4時間)	III-4. 獣害問題の現状と対策 総合的病害虫管理技術

使用教科書 (テキスト) 書籍名、自作資料の内容を記入

講義の中でプリントを配布する。

到達目標

地球温暖化 (気候変動) に対する理解を深めるとともに、地球温暖化と農業との関係、農業が環境汚染の加害者と被害者の両面を有していることを理解しながら、農業が環境保全に貢献する産業となるための環境保全指針について理解と知識を深めることを目標とする。

評価で重視する内容 (テスト・レポート等の有無、その他 (授業態度・出欠))

○記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容 ○授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 117

講座名	情報処理Ⅱ	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 教養 <input type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期	時間数(単位数)	16時間(1単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習	実験	実習	見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)	
1. データ整理と図表作成	
2. プレゼンテーション用ソフトの利用技術	
3. 情報リテラシーについて	

授業内容(4時間を1回分とした内容)	
第1回(4時間)	データ収集と活用(表・グラフの作成)
第2回(4時間)	データ収集と活用(表計算の利用)
第3回(4時間)	効果的なプレゼンテーションの実践
第4回(4時間)	情報リテラシーの向上
使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料①表・グラフを活用したレポートの作成、②2軸のグラフ作成、③統計・論理関数を活用したデータ整理、④プロジェクトスライド様式作成	
使用資料 総務省ICTメディアリテラシー教材	

到達目標	
① 表・グラフを活用したレポートが作成できる。	
② 生育データ等の集計に表計算ソフト(関数等)が活用できる。	
③ プレゼンソフトによって、見やすい発表用スライドが作成できる。	
④ 情報リテラシーについて理解している。	

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))		
<input type="checkbox"/> 出欠状況	<input type="checkbox"/> 提出物の有無と内容	<input type="checkbox"/> 授業態度

評価基準	
本講座は、演習を主とする科目であることから、評価は提出物、レポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。	

滋賀県立農業大学校シラバス 118

講座名	気象と農業災害	担当	元高校教員（農業）	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/>	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実験	<input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可）

- 気象概論と滋賀の気象 ○ 気象災害と対策
- 気象情報の入手と活用 ○ 獣害対策

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	気象概論と滋賀の気象
第2回（4時間）	彦根地方気象台見学研修
第3回（4時間）	獣害対策について
第4回（4時間）	気象災害と対策、気象情報の入手と活用

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

気象庁の気象・気象災害の資料、自主教材 等

到達目標

滋賀県の気象の特徴を把握し、農業における気象災害を予見するとともに必要な対策を講じることができる。また、獣害を防ぐ方法について基本的な知識を身につける。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト ○ 出欠状況 ○ 提出物の 有 無と内容（現地研修レポート）
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 119

講座名	スマート農業	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 就農	
学期	前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習	実験	実習	<input checked="" type="checkbox"/> 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可）

農業就業人口の減少や農作業従事者の高齢化に伴い、農業の超省力化や高品質な農産物の安定生産等が求められている。そこで、それらを可能にする農業分野での新たな技術として近年注目される、農業でのドローンの活用、クラウド型農業管理システム、環境制御ハウスや自動運転トラクターといったスマート農業についての理解を深める。

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	スマート農業について、農業機械メーカー先端技術（座学）
第2回（4時間）	クラウドシステムを利用したスマート農業（座学）
第3回（4時間）	農業新技術の製品・サービスについて（座学）
第4回（4時間）	農業機械による先端技術活用事例について（座学） ドローンを活用したスマート農業（座学、演習）

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

農機メーカー商品カタログ 等
 農業新技術 製品・サービス集（農林水産省）
 スマート農業オンライン教材（農林水産省）

到達目標

各専攻の分野での先端技術の見学や演習を通じ、省力化や高品質化に向けた取組への理解が深まる。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

記述テスト 出欠状況 提出物の有無と内容 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 120

講座名	農産物生産管理(GAP)	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期	時間数(単位数)	時間(1単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input checked="" type="radio"/> 演習	実験	実習	<input checked="" type="radio"/> 見学

科目内容(教育研修計画より転記も可) GAP演習(作業行程確認、リスク評価、改善策検討、手順書作成など) 先進農家の取り組み事例の見学

授業内容(4時間を1回分とした内容)	
第1回(4時間)	GAP認証の仕組み メロンのリスク評価の説明と深化に向けた演習
第2回(4時間)	各専攻の生産改善のための演習 ① 現状把握(作業行程確認、リスク評価) ② 改善策の検討、手順書等の作成、改善の実施
第3回(4時間)	各専攻の生産改善のための演習 ① 改善策のまとめ、発表準備 ② 発表と評価
第4回(4時間)	先進的な取り組み生産者の見学: 浅小井農園等
使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料: GAP認証の仕組み、メロンのリスク評価ワークシート など	

到達目標
講義・演習を通じてGAP認証の仕組みを身につけている。 リスク評価を通じ、リスク対策への取り組み意識が身につけている。 GAP認証の継続取得にむけた準備ができる。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))
<input type="radio"/> 記述テスト <input type="radio"/> 出欠状況 <input type="radio"/> 提出物の有無と内容 <input type="radio"/> 授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 121

講座名	複合経営・多角経営	担当	県農業技術職員	実務経験	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻 <input type="checkbox"/>	対象学生	1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農 <input type="checkbox"/>		
学期	前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/>	時間数(単位数)	16時間(1単位)		
授業形態(○記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/>	実験	実習	<input checked="" type="checkbox"/> 見学 <input type="checkbox"/>	

科目内容(教育研修計画より転記も可)	
1. 土地利用型(水田)農業の成り立ちおよび経営の発展 2. 複合経営・多角経営の取り組み状況 3. 複合化の技術(省力稲作、少量土壌培地耕、ポット栽培等)	

授業内容(4時間を1回分とした内容)	
第1回(4時間)	1 土地利用型(水田)農業の成り立ちおよび経営発展の方向性 圃場整備、転作の経過、稲作経営の発展
第2回(4時間)	1 経営の複合化と多角化(定義) 2 県内農家の取り組み状況、複合化および多角化(直売、契約、観光、加工、輸出)の現状
第3回(4時間)	1 複合経営で取り込まれる技術について ・省力稲作・少量土壌耕・プランター栽培・果樹のポット栽培 2 施設園芸の基礎(溶液栽培の仕組み、ビニールハウスの構造)
第4回(4時間)	効率化・複合化・多角化に向けたシミュレーション、経営体(法人)の経営計画検討

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入
滋賀の農林水産業 抜粋

到達目標
複合経営・多角経営の現状が理解できている。 日本の農業の成り立ちが理解できている。 複合経営の効率化・複合化・多角化に向けた経営計画検討ができる。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))
<input type="checkbox"/> 記述テスト <input type="checkbox"/> 出欠状況 <input type="checkbox"/> 提出物の有無と内容 <input type="checkbox"/> 授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 122

講座名	農業機械実習	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input checked="" type="radio"/> 後期	時間数（単位数）	32時間（1単位）	
授業形態（○記入）	講義	演習	実験	<input checked="" type="radio"/> 実習 <input type="radio"/> 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可） 主要な農業機械について基本操作の手法を学ぶ。 ＊第1～3回は前期、第4～8回は後期に実施する。 一部農業機械は各専攻主体に実施する。
--

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1回(4時間)	小型特殊自動車（運搬車、SS）の構造、安全な運転方法
第2回(4時間)	防除機、動力散布機の構造、正しい操作方法。
第3回(4時間)	刈払機、ハンマーナイフモアの構造、安全な除草方法。
第4回(4時間)	コンバインの構造、操作方法。乾燥施設の仕組みと作業。
第5回(4時間)	トラクタによる耕起作業。
第6回(4時間)	耕耘機、管理機の操作方法。
第7回(4時間)	ホイールローダー、バックホーなど特殊機械の操作方法。
第8回(4時間)	農業機械のリスク管理演習。
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料 各機械取扱説明書 他	

到達目標
農作業に必要な農機具の安全な操作方法の習得

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
○ 授業態度 ○ 出席日数

評価基準
本講座は、実習中心の科目であることから、評価は出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。

滋賀県立農業大学校シラバス 123

講座名	基礎実習	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数（単位数）	128時間（4単位）	
授業形態（○記入）	講義	演習	実験	<input checked="" type="radio"/> 実習 <input type="radio"/> 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可） 農業に関する技術を総合的に体験させ、農業者としての基礎的資質向上を図る。
--

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1～8回 (32時間)	水田農業にかかる栽培に関する基礎技術の習得
第9～16回 (32時間)	野菜の栽培に関する基礎技術の習得
第17～24回 (32時間)	花きの栽培に関する基礎技術の習得
第24～32回 (32時間)	果樹の栽培に関する基礎技術の習得
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料	

到達目標
農業にかかる基礎的な技術が体験できる

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
○ 授業態度 ○ 出席日数

評価基準
本講座は、実習科目であることから、評価は出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。

滋賀県立農業大学校シラバス 124

講座名	農業体験学習 I	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数(単位数)	32時間(1単位)	
授業形態(○記入)	講義	演習	実験	<input checked="" type="radio"/> 実習 <input type="radio"/> 見学

科目内容(教育研修計画より転記も可) 先進農家において農作業を体験し、現場での農業技術やその経営感覚を学ぶとともに協調性と社会性の育成を図る。
--

授業内容(4時間を1回分とした内容)	
第1・2回 (8時間)	近隣の先進農業者(1件目)における農業の体験
第3・4回 (8時間)	近隣の先進農業者(1件目)における農業の体験と経営内容等のヒアリングなど
第5・6回 (8時間)	近隣の先進農業者(2件目)における農業の体験
第7・8回 (8時間)	近隣の先進農業者(2件目)における農業の体験と経営内容等のヒアリングなど
使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入	
なし	

到達目標
農業者の実際の経営感覚が体験できる

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))
<input type="radio"/> 授業態度 <input type="radio"/> 出席日数

評価基準
本講座は、実習科目であることから、評価は出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。

滋賀県立農業大学校シラバス 125

講座名	農業体験学習Ⅱ	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	1年 <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input checked="" type="radio"/> 後期	時間数（単位数）	320時間（10単位）	
授業形態（○記入）	講義	演習	実験	<input checked="" type="radio"/> 実習 <input type="radio"/> 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可）	
先進農家において2か月間地域農業の実態に接し、農業技術やその経営感覚を学ぶ。	

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1～80回 (320時間)	指導農業士等における実際の農業技術および経営感覚の習得
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入 なし	

到達目標
農業者の実際の農業技術や経営感覚を習得する。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
<input type="radio"/> 授業態度 <input type="radio"/> 出席日数

評価基準
本講座は、実習科目であることから、評価は出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。